

|  |  |          |                         |
|--|--|----------|-------------------------|
| 牛久市環境審議会議事概要   |  | 開催日      | 令和3年11月22日(月)           |
| 件名   | 令和3年度 第4回会議  | 場所<br>時間 | 本庁舎3階 庁議室<br>9:30~11:35 |
| 作成年月日  | 令和4年2月10日(木)   | 作成       | 環境政策課 小河原 晋             |
| 出席者  | (出席委員) 福島会長、秋山副会長、鈴木委員、浅野委員、岡川委員、桑名委員、佐藤委員、<br>牧委員、丸山委員、川谷委員<br>(事務局) 大徳環境経済部次長、横瀬環境政策課長、張替新エネルギー対策室長、<br>久保田副参事、小河原主査<br>(傍聴者) 2名 (順不同・敬称略) |          |                         |
| 議事内容   | (1) 第4期環境基本計画の原案について(審議)<br>(2) 地球温暖化対策実行計画の原案について(審議)<br>(3) 事務局からの連絡   |          |                         |
| 会議内容等  |  |          |                         |
| (1) 第4期環境基本計画の原案について(審議)<br><環境基本計画原案に対する主な意見> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「フクロウが繁殖活動を行っている箇所数」が目標とする指標になっているが、フクロウの行動範囲は広いため、もう少し行動範囲の狭い生物の方が良いのではないかと。市域の生物多様性の状況を示すような指標にしてはどうか。</li> <li>・これまでの環境基本計画と比べて、大気、水、騒音・振動といった、いわゆる公害に関する部分の記載が少ない。</li> <li>・「ゼロカーボンシティ」と「バイオマスタウン」の実現が目標として示されているが、これまで取り組んできた「バイオマスタウン」についての記載が少ない。</li> <li>・小学校や中学校の総合的学習で、子どもにしっかりわかってもらうことが大事である。環境学習について、環境基本計画を教材にしてもらえるようになると良い。</li> </ul>  |  |          |                         |
| (2) 地球温暖化対策実行計画の原案について(審議)<br><地球温暖化対策実行計画原案に対する主な意見> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロカーボンシティの実現による多面的な効果があることを十分に理解してもらうことが大事である。ゼロカーボンシティに取り組むこと自体が環境学習の場となることを記載してはどうか。</li> <li>・家庭でできる省エネルギー行動の取り組みについて、取り組む項目を一つでも増やしたり、実践する仲間を増やしたりするなど、小さな努力が地球温暖化対策につながることを示すことが重要であり、「一つでも数を増やしましょう」や「仲間を増やしましょう」といったことを書き、取り組みへの意欲を持ちやすいような表現にした方が良い。</li> <li>・再生可能エネルギーの導入について、屋根に太陽光パネルをたくさん付けるなど積極的な姿勢を示せると良い。</li> <li>・2030年度の温室効果ガス排出量について、2013年度比33.3%削減を達成するには、国の政策によるところが大きい。市は手堅くできる対策を考えていく必要があるのではないかと。</li> </ul> |  |          |                         |

- ・市役所の中で率先してやることをもっと書いても良いのではないか。削減対策を市役所自らやってみせる必要があるのではないか。

(3) 事務局からの連絡

- ・パブリックコメントは12月末からの実施予定である。

以上